

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		がん検診				所管	健康部 保健サービス課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	153	計画事業名	がん予防対策の充実		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり					[事業開始] 昭和57年度			
		[小 柱] (1)区民の主体的な健康づくりの支援					[終了予定] - 年度			
		[施 策] ②がん予防の推進								
	根拠法令等	その他		[法令等名]	健康増進法第9条第1項(健康診査の実施等に関する指針)					
	事業対象	直接の対象 : 胃・大腸・肺・乳がん検診:40歳以上 子宮頸がん検診:20歳以上 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	職場等で受診機会の無い区民に対してがん検診を実施することで、がんの早期発見・早期治療につなげ、がんによる死亡率の低下を図る。								
事業内容 [29年度]	検査内容: 胃がん検査(問診、胃部X線検査)、大腸がん検査(問診、便潜血検査)、肺がん検査(問診、胸部X線検査、喀痰検査(50歳以上でブリクマン指数600以上))、乳がん検診(問診、マンモグラフィ撮影)、子宮頸がん検診(問診、視診、内診、細胞診) 実施時期:4月~3月 費用:無料 実施場所(委託先):①胃がん、肺がん 永寿総合健診・予防医療センター、浅草病院、台東病院、鶯谷健診センター ②大腸がん、子宮頸がん 医師会所属医療機関 ③乳がん 永寿総合健診・予防医療センター、浅草病院、鶯谷健診センター									
委託の有無	一部委託		委託内容		検診業務全般					
補助金の有無	国・都									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	各種がん検診実施期間		-	通年	通年	通年	通年	通年	-
		がん検診受診者数(胃・肺・大腸)		人	31,383	25,956	26,805	28,866	26,730	108.0%
	成果指標	女性のがん検診受診者数		人	14,381	13,555	13,632	13,971	13,770	101.5%
		決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				178,440		172,659		192,045
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				9,993		10,431		8,014
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				178,440		172,659		192,045
		総経費				0		0		0
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				188,433		183,090		200,059
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0		0		0		
一般財源(区負担額)				1,389		0		0		
前回評価から29年度に改善した事項	一部医療機関において、肺がん検診と総合健康診査を同時に受診できる体制を取り入れ、より受診しやすい環境の整備を行った。また、広報たいとう「がん特集号」、総合健診受診票に同封している「健診のご案内」に、検診の重要性等に関する案内を掲載し、周知啓発を行った。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	がんは死因の第一位であり、その予防対策の必要性は大きく、受診者数も増大している。がん検診を実施することで、がんの早期発見、早期治療及び死亡率の減少につなげることが出来る。							
	効率性	3	前年よりコストは増大しているものの、実績は目標より2,000名以上多く、事業目的達成にむけ効率的な事業運営を行っている。今後も更なる受診者数増のため、検診受診の重要性についての周知啓発、未受診者への働きかけについて、更なる工夫を行っていく必要がある。							
	手段の適切性	3	区内医療機関において通年・無料で実施し、総合健康診査と同時受診可能とするなど、区民にとって受診しやすい環境を整備している。適切な手段で事業を実施しているが、更なる受診者増のため、実施場所の追加など、受診しやすい環境の整備を進めていく。							
目的達成度	4	目標受診者数は達成しており、区民のがんの早期発見・早期治療に一定の成果を果たしている。事業目的を達成するためにも、引き続き、検診受診の重要性等に関する周知啓発等を実施していく。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
がんの早期発見・早期予防および死亡率の減少を促進させるためには、がん検診の実施は必要不可欠である。検診受診の重要性等に関する周知啓発や受診しやすい環境の整備を継続的に実施したことにより、受診者数・受診率ともに増加傾向にあるが、事業目的の更なる達成のため、更なる対策・工夫を継続して実施していく必要がある。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		